



4月のスタート 笑顔で持ち帰り

松本市 信州子ども食堂まつもと・どん八

4月1日（木：スタートダッシュの日）松本市の「信州子ども食堂まつもと・どん八」は、子ども23名と大学生20名を含む63名に、キムチと鶏肉のチーズ焼きやいなり寿司などをお渡しし、留学生らに笑顔があふれていました。



↑キムチと鶏肉のチーズ焼き
↓生ハムとじゃがいもの炒め物



お弁当と支援物資を受け取る信州大学留学生



子ども用衣類の区分け作業

どん八さんのいなり寿司・キムチと鶏肉のチーズ焼き

&生ハムとじゃがいもの炒め物のお弁当や玄向寺さんからのドーナツ、アポロさんからのお菓子を渡しました。

キムチは(株)キムフードさん、鶏肉は山忠さん、生ハムはイチジュウさん、野菜類はJAグリーン長野さんからいただいたものを利用しました。



今回、信大の留学生2名がお手伝いに来てくださりとても助かりました。

「何でもお手伝いしますから、おっしゃってください」と、とても心温まるお言葉でした。



お弁当を受け取った方からは、「いつも有難い、助かります」と感謝され、お子さんからは「今日のメニュー何？」と聞かれ…次回からメニュー名を掲示したいと思いました。

食べられた方からは、「キムチ辛くなくて良かった～こんなアレンジメニューあるんだ」、「両方美味しかった～いなり寿司に合います」と大絶賛されました。

今回、春休み中でもあり沢山の親子連れや留学生が来てくださり、コロナ禍で持ち帰りスタイルを保ち3密を守りながら、長野牛乳さんからの牛乳と沢山の企業さんから寄贈していただいた物資を持ち帰っていただきました。

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください





子どもが好きな ちらし寿司

小諸市 信州子ども食堂 in こもろ

3月27日(土)、小諸市相生町の相生会館で開いた第58回「信州子ども食堂 in こもろ」。11時30分に事前予約をした子ども31人と大人24人合計55人に、ちらし寿司などをお渡ししました。



メニューは、ちらし寿司、ほうれん草、ジャガイモ、ベーコン炒め、果物(イチゴ、キウイ、パイナップル)の楊枝差しです。コロナ感染防止で3密を避けるため、短時間でできるように心掛けました。

ごはんの上にかんぴょう、干しシイタケ、にんじん、卵、ブロッコリー、レンコンをのせ、紅ショウガときざみのりで彩りを工夫しました。スタッフの分も含め67食の弁当を作りました。



相変わらず参加者からじっくり感想を聞くことも出来ませんでした。ラインで感想を聞いたところ、「親も食べたらいろんな素材があって、バランスが良いと言っていました」、「ちらし寿司は子ども達が好きなメニューでたくさん食べていました」、「こども達ふたりともペロリと食べて、妹はお代わりが欲しいと言うくらいでした」、「いつもフルーツが付いて食後のデザートを毎回楽しみにしています」、「紅ショウガは小さい子が食べられず大人が食べました」との感想をいただきました。



当面はお弁当のテイクアウト方式と思いますが、食事を共にできないため、こども達との交流もできず、また料理の感想も聞けないことで、何か物足りなさを感じています。一日でも早く従来の食事会が開催できればと願っています。

ホットライン信州さんからジャガリコとカルピス、ホクトさんからドンコシイタケ1袋、紺屋町の仲岡さんからお米10キロ、匿名さんからお米10キロ等のご協力をいただきました。

今後も「食を通じた世代交流で市民同士が支え・助けあうふれ合いの循環社会のまちづくり」を目指し、100回に向けて続けていきたいと思っています。



<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください





彩りを工夫した おいしいお弁当

小諸市 信州子ども食堂 in こもろ

4月24日(土)、小諸市の「信州子ども食堂 in こもろ」には、子ども34名を含む82名が参加しました。

コロナウイルス感染防止で3密をできるだけ避けるため、短時間でできるように心掛けました。スパゲティーをゆでた後、大鍋にウィンナー、シイタケ、玉ねぎ、ピーマンを入れ、ケチャップとウスターソースで味付けをして彩りを工夫しました。その横に、カレー味と刻み梅漬けのおにぎり、唐揚げ、シイタケのふくめ煮、イチゴを盛り付け、スタッフの分も含め82食の弁当を作りました。



今回、「小諸商業高校ボランティア部」の生徒さん10人と引率の春日先生が参加してくれました。「今後も参加したいです」、「玉ねぎの刻みは大変でした」とのこと、今後の活躍を期待しています。

相変わらず参加者からじっくり感想を聞くことはできませんでしたが、ラインで感想を聞いたところ、「具たくさんパスタと唐揚げ、とても美味しかったです」「いつもお土産ありがとうございます、立派なシイタケは親戚でも大絶賛です」、「豪華で美味しかったと満点の笑顔をこども達からもらいました」、「シイタケ、唐揚げの味付けが美味しかったです」、「2歳前のこどももシイタケ丸ごと食べました」との感想をいただきました。



今回も事前にラインでチラシを配信し、1日半で58名予約が入りました。

コロナ終息まで当面は、お弁当のテイクアウト方式かと思いますが、食事を共にできないため、こども達との交流もできず、また料理の感想も聞けないことで、何か物足りなさを感じています。一日でも早く従来の食事会が開催できればと願っています。

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州  舞い上がる 社会を変える みんなの力 休眠預金を活用した事業です
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください

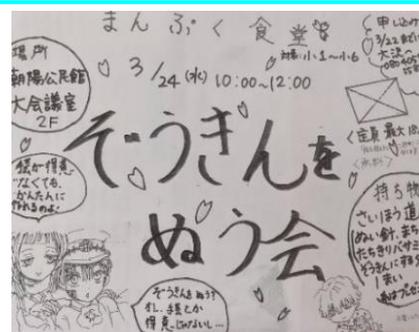
自分で縫おう！ ぞうきんをぬう会

長野市 まんぷく食堂



3月24日(水)のまんぷく食堂は、春休み特別企画として、「ぞうきんをぬう会」を朝陽公民館にて行いました。新学期に必要なぞうきんを自分で縫おう！という企画です。

地元の朝陽小だけではなく、長野市内の他校からも参加してくれて、子ども10人と大人4人(内スタッフ3人)で行いました。今回はコロナ対策で密を避けるため参加者の人数を少なくしました。



縫い幅が広がったり、糸を短く切っちゃったり色々ありましたが、自分で作り上げたぞうきんはとても達成感があります！高学年のお子さんには、本格的な波縫いのやり方も教えることができ、地域のいちおばちゃんであるスタッフ Y は大満足でした。

家庭科で波縫いを習うのは、小学校5年生です。参加者は小1からなので、初めて糸と針を持つお子さんもいました。スタッフも自分の子ども以外に教えるのは初めて。

まずはタオルを半分に切り、切り目を真ん中で合わせます。スタッフ O さんの作り方で、こうすると縫う場所が少なくなり、時間も糸も節約できます。「1枚から2枚のぞうきんが作れること。子どもの手で絞れる薄さがポイント！吸水性アップしたいときは手ぬぐい1枚はさむと良いです！」と O さん。1人ではなく、他の方と一緒に作業すると、お互いちょっとしたコツを伝授しあえるのも良い点ですね！



参加者の感想

◎姉妹で参加してくれた I さん…昨日は雑巾お世話になりました。とても良い経験をさせてもらいました。小5の姉は、小1の妹がスタッフの方から手ほどきを受けて、真剣にお裁縫している姿を見て、可愛くて可愛くて妹が作ったハンテコな雑巾を抱きしめて寝ていました。宝物にするんだそうです！

◎K さん…息子はサッカーとか体を使う遊びがあまり好きでなく、縫いものや工作が好きなんだそうです。(男子 1 人きりの参加でしたが、好きだけあり、黙々と作業して短時間に2枚完成してしまいました。)

◎O さん…楽しかったみたいです。雑巾が縫えたって喜んで見せてくれました。学校に持って行って！毎回自分で縫ってもらおうと思うので、まち針買ってあげようと思います！

自分で縫ったぞうきん！家族にも、お友達にも自慢できますね！！参加者の皆さんも喜んでくれたし、スタッフもとても楽しかったので、またぜひ第2弾を計画したいと思います！



小2女子作成





中野市で初開催 フードパントリー

中野市 信州子ども食堂&フードパントリー

3月22日~23日の2日間、中野市の平野児童センターと中野児童センターで、春休み子ども応援プロジェクト「信州子ども食堂&フードパントリー」を開催しました。

子ども156名と大人124名の計280名へ食材(お米3キロ、フルーツMIX、お菓子、のど飴など)を提供しました。



お米を袋に入れて準備



お米を受け取ったお母さんの笑顔がとても印象的で「こんなにいただいて良いのですか?毎日、お弁当なので本当に助かります。ありがとうございます」と心から喜んでいただきました。

子ども達も目を輝かせ、笑顔が広がっていました。食材を受けり、楽しそうに帰る親子の後ろ姿に私たちも元気をもらいました。



子ども達へ福を呼ぶ!
ミニひょうたんをプレゼント

Doleさん、キューピーさん!
ありがとうございました!



今回、フードパントリーをはじめて経験した家族が多く、皆さん驚きと同時に食材を提供していただいた企業さんへ感謝されていました。

今後も「お互い様、ありがとう」の輪を長野県内に広げて行けるよう、信州子ども食堂ネットワークも信州の笑顔のため活動していきます。

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



上田市で初開催 0円スーパー

上田市 まるこ福祉会



3月30日(火)、上田市長瀬のきらりホールで、社会福祉法人まるこ福祉会が主催した「第1回0円スーパー・0円食堂」。NPO法人土と人の健康づくり隊とNPO法人ホットライン 信州も共同して、「コロナ禍でも自宅で楽しもう!」と、国産黒毛和牛の焼肉弁当と鰻重、新鮮な米と野菜・果物など各種食品を提供しました。協力企業等は21団体、高校生ボランティア等は7名、運営スタッフ21名で、当日の利用者は37家族117人でした。

東信ジャーナル 2021年(令和3年)4月6日(火曜日) (4)



協力店ごとにボランティアが0円販売。新鮮な野菜や果物もたくさんです。



黒毛和牛の焼肉弁当、宮崎産の鰻重
参加者の声々・・・「ありがとうございます。これで三日間、生きていけます!」との感想もありました。

「0円弁当」「0円スーパー」
上田のまるこ福祉会
食事も50種類以上の食料品提供

上田市長瀬の社会福祉法人まるこ福祉会(柳澤正敏理事長)は、このほど、コロナ禍で生活に困難を感じている人などに食事や食料品を渡す「0円弁当」「0円スーパー」の取り組みを初めて行った。

黒毛和牛の焼肉弁当70食とうな重30食は事前に電話で予約を受け付け、同法人のホールには県内外の協賛企業14社が提供した米や野菜、果物、菓子など50種以上の食料品をすらいと並べた。

弁当は地元農家が提供した米を使用し、同法人のパン工房からまるるしで調理した。

この日は115人が来場。3歳の長女を連れて訪れた市内の30代女性は家族6人分の弁当を選り、袋いっぱい詰めて持ち帰った。

同法人は2018年から子どもレストランを開設しており、新型コロナウイルスの影響で職を失ったり収入が減少したりと生活に困窮しているひとり親世帯や独居高齢者、外国籍住民ら支援が必要なのは多いと判断。チラシを公共施設の窓口に置いてもらったり、同法人が運営する障害福祉サービス事業所の利用者が地元住宅に手配りして周知した。

「丸修学園高校と上田高校の生徒5人がボランティアで運営に参加。丸修学園高校の瀧澤七帆さんは児童福祉司を目指しているといい、「皆さんの笑顔を見ると、本当に大切な活動なんだと思う。自分が目指す将来に少しでも近づきたいとボランティア活動をさせてください」と話していた。



多彩なメニュー 楽しいひととき

上田市 子どもレストラン “きらっと”

4月3日（土）、上田市の社会福祉法人まるこ福祉会障害福祉サービス事業所‘きらり’で開いた「第32回子どもレストラン“きらっと”」。

児童59人と保護者等、ボランティア・スタッフ等66人の計125人で、自分だけのチョコクロワッサンづくりや黒毛和牛の焼肉などを楽しみました。



楽しい食事のひととき



【体験メニュー】自分だけのチョコクロワッサンづくり



室内では、ダンシングチームによる「パプリカ」の披露やピアノとソプラノサクソの生演奏、ボランティアとの室内遊びなどで楽しく過ごしました。



ツリーハウス「赤いお屋根のとんがりハウス」のオープニングセレモニーを行いました。

食事メニューは、春の食材も取り入れ、黒毛和牛の焼肉、ふきのとうの天ぷら、こんにゃくの田楽、春キャベツのサラダ、菜の花のお吸い物、エノキ野菜炒め、みかん、ぶどう、市田酪農ヨーグルト、ご飯、漬物、甘酒・フリードリンクと多彩でした。



<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局

本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ



0120-914-994

特定非営利活動法人NPOホットライン信州

ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/>

各地での報告や開催日程などをご覧ください





笑顔でコロナを 吹き飛ばす

中野市 ララカフェ豊田

4月17日(土)、中野市の豊田人権センターで、スタッフと子どもを合わせて約40名が参加した「ララカフェ豊田」。

消毒・マスク・換気などコロナ感染対策をきちんと行い徹底している中でも、スタッフの笑顔は絶える事なく、和やかな雰囲気で落ち着く空間でした。



みんなで「いただきます！」

長野牛乳さまから牛乳を提供していただき、さらに笑顔が広がりました。「たくさん牛乳をいただいて助かります。これで鳥の唐揚げも、胸肉から時々モモ肉へレベルアップする事ができます」と冗談も飛び交い、笑顔の絶えない「ララカフェ豊田」です。

メニューは、鳥の唐揚げ、おにぎり、デザート、懐かしい「ニラせんべい」。子ども達へ心を込めて作る「ニラせんべい」、いつもありがとうございます！



毎回 JA 中野市さんからキノコをいただき、信州子ども食堂ネットワークで活用しています。



長野牛乳さまから信州子ども食堂ネットワークへ毎月、たくさんの牛乳を提供していただいています。本当にありがとうございます！



ララカフェ豊田は、毎月第3土曜日 AM10:00~PM2:00 開催しています。スタッフと子ども達との世代間交流の場所としても大切な役割を果たしています。



<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください





テイクアウトのお弁当をお家で

長野市 古里子どもカフェ

4月18日(日)、長野市の「古里子どもカフェ」には、子ども19名を含む49名が参加し、テイクアウトで開催しました。

メニューは、焼そば弁当、サバのフリッターカレー味、ポテトサラダ、牛乳、ポップコーンコンソメ味、お菓子、お米と食材でした。



ご主人の転勤で長野市に来たけれど、知り合いも無く小さな子どもを連れて行く所も無く、「古里子どもカフェ」をパソコンで見つけて

「ぜひ行きたい」とお弁当を受け取りに来てくれたご家族。いろいろ心配事を話され「次回も楽しみに来たい」と言って帰られました。



ボランティアさんが作ってくれた「りんごチップ」を予約いただいた各ご家庭に宅配しました。



家でお弁当を食べている写真を撮って送っていただきました。



小学校に4人通わせているお母さんから「毎月1日、昼食を作らなくて良い日があると私の心に余裕が出来て怒らない日になっています。ありがとうございます」と感謝の電話をスタッフと一緒に聴く事ができ、「頑張って良かったね、私達も楽しいし、ありがとうだね」とスタッフ、食材を提供して下さった方々に心からの感謝です。ありがとうございました。



うどんを味わい コロナに勝つぞ

松本市 信州子ども食堂 in まつもと学び塾



4月24日(土)の「信州子ども食堂 in まつもと学び塾」には、子ども45名を含む92名が参加。新型コロナの影響で苦慮している子どもと家族・学生に、讃岐うどん・ドーナツ・アイスクリームとお米5kg・ネギ・味噌などの支援物資で「蔓延するコロナに勝つぞ!」との意気込みを感じられた信州子ども食堂でした。



松本市島内東方公民館の讃岐うどん同好会のみなさんに、100食と持ち帰りうどんをつくっていただきました。



学生ボランティアも手伝って、でき立ての美味しい「讃岐うどん」を渡し、公園で食べていただきました。



学生ボランティアの方もお手伝い



安曇野北穂高農業生産組合の相澤さんが、精米したばかりの美味しい北穂高米を60袋届けてくださいました。



塩尻市の無量寺様より採れたてネギの寄贈

無量寺様より採りたてのネギをいただき、皆さん持ち帰り。家で食べたら「とても美味しい」とのことでした。



学生ボランティアより感謝状の贈呈



長野銀行さんや玄向寺からの食品を抱えて喜ぶ学生さんたち。



島田さんのバルンアートに子どもたちは大喜び!そして学び塾に初めて綿あめが登場、子どもたちが交代で作りました。





新学期スタート カフェ風の献立

松本市 寄り添い子ども食堂

4月26日（月）、松本市の「寄り添い子ども食堂」は、4月にしては肌寒い日。子ども30名を含む62名が参加してくれました。

令和3年度初めての開催で、新しい制服やジャージを着た姿は、とても新鮮に感じました。



メニューは、ロコモコ風ミートソース丼・サラダ・スープ。デザートは、くちどけいちご（いちご）と長門牧場様よりいただいたアイスクリーム。



ミートソース丼は、キューピーのミートソースを利用し、フレッシュフードシェアでいただいた卵をのせて、ロコモコ丼風にしました。

ワンプレートのカフェ風のメニューは、みんな喜んで食べていました(^)デザートの一いちごとアイスクリームも大満足。美味しくいただきました。



今回もNPOホットライン信州よりいただいたカップラーメンやケチャップなどを配布しました。たくさんの皆様のご協力、ご参加ありがとうございました。



子ども達に役立ててほしいと、寄付をいただいた中から、子ども達にノートを配布しました。

そして、子ども達には寄付をしてくださった方に感謝を伝えるメッセージカードを作成してもらいました。いただいたノートでたくさん勉強してくださいね♪

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



ありがとうの言葉に支えられ

諏訪市 信州子ども食堂 in すわ「ちゃんちゃんこ」



4月17日(土)、第56回信州子ども食堂 in すわ「ちゃんちゃんこ」。ドライブスルー方式で、ちらし寿司セットやブルーランジェリー・リュミエールさんのパン、テンホウの餃子、ホットライン信州さんからのカルピスやお菓子など、下諏訪フードドライブの会からの食品、まいさぼ諏訪様から保存食品、ボランティアさんたちからのワカメ)やほうれん草・手作りこんにゃくなどをお届けしました。



開催前日に諏訪地域に「レベル5」の「新型コロナウイルス特別警報Ⅱ」が発令されましたが、関わるスタッフはマスク着用、検温、消毒、部屋の窓を全開にして組み込みを行い、受け渡し時にも消毒、連絡先の名簿記入などの協力をお願いして、万全の対策を実施しました。



ドライブスルー形式での「ちゃんちゃんこ」ももうすぐ1年になるうとしていきます。一緒に食事ができないもどかしさの中での模索の一年でもありました。「みんなとつながってほしい」そんな気持ちが参加者やスタッフ・ボランティアさんたちを結び付けているように思います。窓越しから聞こえる「ありがとう」の言葉はみんなに聞こえていますよ。雨の中でも身を乗り出すように手をふる子どもたちの姿に「よし！またがんばろう！」と、元気と力が湧いてきます。



来場車との窓越しの貴重なふれあいの時間も短時間になりましたが、子ども36名22家庭62名の皆さんにお届けすることができました。コロナが落ち着くの祈るばかりです。

今回は寄付をしていただいた「立正佼成会諏訪教会」の方々が雨の中見学に来てくださいました。テンホウの大石社長も雨の中餃子を届けてくださいました。スタッフ・ボランティアさんは合羽を着ての対応です。縁の下の力持ちになって支えてくださる皆様のおかげで続けることができています。本当にありがとうございます。

今回もホットライン信州様、織田様、ブルーランジェリー・リュミエール様、フードドライブ下諏訪の会様、テンホウ様、まいさぼ諏訪様、清水様、濱様からご支援をいただきました。皆様に感謝いたします。そしてこれからも引き続きのご支援をお願いいたします。



<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州  ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



出張子ども食堂 屋外イベント

長野市 信州子ども食堂古里カフェ



5月8日(土)、長野市の信州子ども食堂古里カフェで「出張子ども食堂 in ながぬま」を信州プロレスとのコラボで開催。天候にも恵まれ最高の屋外イベントになり、参加者は、子ども22名・大人43名でした。



メニューは、三色ご飯、イタリアン肉団子炒め、切干大根の煮物でした。



ご主人の仕事の都合で、知らない土地にいられた2組の家族から「楽しみが出来て良かった、これからもよろしくお願ひします」との言葉をいただきました。



くちどけいちご🍓と長野牛乳を参加者へ。さらに、子ども達にはお菓子を、大人にお米を提供しました。



長谷寺様からお米 10kg 2袋と、お菓子など22点をいただきました。



ボトルキャップクラフト、手縫いのマスク、こねつけ(フキ味噌、甘味噌)をご家族で選び、募金箱に募金してくださいました。



長野市役所で 愛情弁当を配布

長野市 信州子ども食堂

5月1日(土)家庭で眠っている！その食品、ロスにしないで「ありがとう」に、子どもと家族や学生たちを応援しよう！と長野市役所で「子どもご縁レー」と「信州子ども食堂&フードパントリー」を桜スクエアの2会場で開催。寄贈品800点180*を持ってくる人、物資の提供を受ける人と子ども68名と学生含めて合計162名が参加しました。



いつもの第3土曜日の子ども食堂のボランティアさんに来ていただけないので、お弁当はなるべく手のかからないメニューにしようと、スタッフでアイデアを出し合い、炊き込みご飯と目玉焼きにしようと決めました。



清泉女学院の学生ボランティアさんや高校生ボランティアさんが見えてくださったので、急ぎよ浅漬けとパウンドケーキを追加し、とても充実した、愛情お弁当が出来あがりました😊



2021年5月14日(金) 信濃毎日新聞



子どもに居場所や食事を提供する「子ども食堂」を運営するNPOホットライン信州(松本市)は今年も、家庭などで余った食料品を集める「フードドライブ」を県内各地で行っている。新型コロナウイルスの影響で困っている子どもやその家族を支援する

松本のNPO
長野で届ける
支援の食料品
あすフードドライブ



女性(右)が届けた食料品を仕分けするスタッフら

子どもに居場所や食事を提供する「子ども食堂」を運営するNPOホットライン信州(松本市)は今年も、家庭などで余った食料品を集める「フードドライブ」を県内各地で行っている。新型コロナウイルスの影響で困っている子どもやその家族を支援するために企画。1日の会場、長野市役所には市内外の約160人が訪れ、食料品や文房具など計650点が集まった。レトルトカレーやインスタント麺などの食料品に加え、ランドセルや遊具を届ける人も。市内の高校教諭塚本志志さん(56)は食料品と生徒が寄付した文房具を届け、「必要とする子どもたちがちょっとでも喜んでくれればうれしい」と話した。

集まった物品はホットライン信州が生活困窮者や県内子ども食堂を運営する団体に届ける。この日は、これまでに集まった食料品や弁当を必要とする人たちに配った。専務理事の青木正照さん(71)「松本市は「コロナ禍でじわじわと生活困窮者は追い詰められている。今こそ支え合い、助け合いたい」。15日は長野市ふれあい福祉センターで開く。



<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ [0120-914-994](tel:0120-914-994) 特定非営利活動法人NPOホットライン信州 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください





コロナで苦しむ 学生へ食料支援

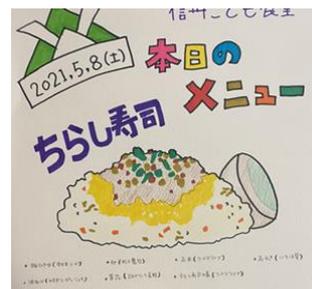
長野県庁 信州子ども食堂&学生フードパントリー

5月8日(土)、長野県庁でNPO ホットライン 信州のスタッフや県青少年サポーターら約50名が、多くの企業から寄せられた430人分の米や飲み物、缶詰、レトルト食品、マスクなどを、コロナ禍の環境で困っている学生に配布しました😊



別室では、信州子ども食堂の調理スタッフが、愛情弁当「ちらし寿司」430食を作り、牛乳といっしょに配りました。学生たちは「とても美味しい」と大好評でした😊

たくさんの食材を求めて、多くの学生たち・・・



5月8日夕方の長野放送で放映されました



ご支援・ご協力いただきました皆様、ありがとうございました😊

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています。無料相談・問い合わせ [フリーダイヤル 0120-914-994](http://hotline-shinshu.jimdo.com/) 特定非営利活動法人NPOホットライン信州ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



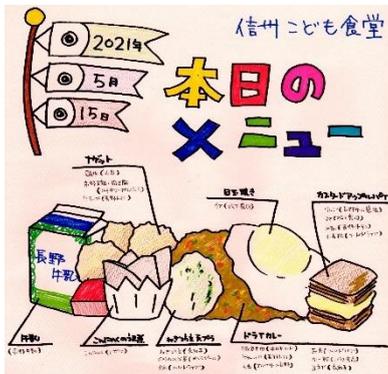


再開を心待ちに お弁当を配布

長野市 信州子ども食堂&フードパントリー

5月15日(土)、長野市の「信州子ども食堂」は、蔓延するコロナ禍でも、たくさんのボランティアさんに支えていただき、子ども38名と学生64名含む180名で開催しました。

いつも来てくださる親子さんは、「早く、皆でわいわいと楽しめる、子ども食堂が1日も早く再開できる日を心待ちにしています」とのことでした。



お米などの食材とボランティアさんの愛情がたっぷり詰まったお弁当をお渡ししました。

学生さんからは、「お弁当がおいしかった」との言葉もいただきました♡



子どもたちの学習では、SDGsを学び、紙芝居を作ることになりました。



<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



豪華なお弁当にSDG sの学び

松本市 信州子ども食堂 in まつもと学び塾



5月22日(土)、松本市の「信州子ども食堂 in まつもと学び塾」は、子ども31名含む78名が参加。

天気も良く、公園で3密を避けながら楽しくお弁当を食べる方、テイクアウトで持ち帰りの方など。「豪華なお弁当ありがとう」、「鮭のレモン焼おいしかった」、「お肉もお魚も食われて大満足」、「いつもお弁当楽しみに来てます」など、多くの声と笑顔をいただき、とても嬉しい1日となりました。



この日は信州サーモンと黒毛和牛のお弁当を配食



お弁当美味しかったです😊



老若男女問わず片っ端から配りまくっているのにお近くの方は是非食べに来てください



ジャムやお惣菜の元の配布も

メニューは、ご飯の上に国産黒毛和牛の野菜炒めと信州サーモンのお弁当。信州サーモンは、ホットプレートで両面を焼き、茹でブロッコリーを添えてマヨネーズを少しかけ輪切りレモンをのせ蒸し焼きにしました。付け合わせに、きんぴらごぼう煮を添えました。

人参は JA グリーン長野から、信州サーモンとキャベツは(株)マツワ食品からいただき、レタスはお手伝いに来ていただいたボランティアさん手作り品を活用しました。彩りが良くボリュームがあるお弁当は、1時間ほどで完売しました。



わかりやすい例を交えてSDG sの学び

4人の子どもたち(主に小学生)に、SDGの目標に関わる説明を身近なわかりやすい例を交えて行いました。【貧困】と【教育】では、家の手伝いのために学校に行けない途上国の例や、地べたに座って先生の黒板だけで授業を受ける例。そして日本でもお腹一杯食べられない生徒がいること。そんな状況を助け合うためにNPOの活動があること。【海を守る】では、石油からできているプラスチックが海に流出して生物に悪い影響を与えていること。使わないで済むなら使わない、リサイクル(分別排出)すべきこと。

【平和】に関して、今も戦争・紛争が多くあることにも少し触れました。



<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ [0120-914-994](http://hotline-shinshu.jimdo.com/) 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください





発酵のチカラで コロナ禍に勝つ

信州子ども食堂ネットワーク

5月26日(水)、上田市のまるこ福祉会に「カルピスウォーター」33,864本(24本入りのケースが1,411箱。重量にすると14トン超)が届きました。全国食支援活動協力会を通じて、アサヒ飲料様からいただきました。



NPO ホットライン信州の上田地区拠点になった、まるこ福祉会の駐車場に積まれた大量のケース



大型トラックで運ばれてきたカルピスをスタッフが倉庫へ運び込みました。松本拠点では受け取りに来た各子ども食堂の車へ積み込みました。



6月12日の「さなだ支え合い会議」フードバンク&フードパントリーや、駒ヶ根市の親子学び育ちの会「まねきネコ」の子ども食堂などで活用します。



5月29日(土)、長野市の信州子ども食堂&学生応援フードパントリーで500本のカルピスを配りました。また、翌30日の信州大学松本での信州子ども食堂&学生応援フードパントリーでも配りました。(左の写真は長野市での様子)

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ [0120-914-994](tel:0120-914-994) 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



子どもと家族を支えよう！

新型コロナウイルスに負けないぞ！～信州子ども食堂

アサヒ飲料様から カルピスウォーターをいただきました 乳酸菌と酵母による、発酵がもつチカラで「コロナ禍」に勝つ！子ども食堂

3月19日(金)にも、全国食支援活動協力会を通じて、アサヒ飲料様から、GREEN CALPIS「豆乳生まれのカルピス」を180ケース・4,320本(370ml、1ケースあたり24本入、総重量約1.6t)を松本市のNPO法人ホットライン信州本部事務所に届けていただきました。



こと」と話す。またホットライン信州職員は「これまで松本・長野で物資を配分していたが、上田に拠点ができたことで受け取りやすくなる」と話した。

同福祉会は、平成30年8月から毎月第1土曜日に「子どもレストラン」を「子どもレストラン」を開催し、食事提供のほか学習支援・多世代交流などを行う。また今年4月には、生活に困難を抱える人に食料を提供する「0(ゼロ)円弁当」「0円スーパ」に取り組んだ。

ホットライン信州は、生活困窮者や困りごとを抱える人など支援を必要とする人に寄り添い、伴

走する活動(相談事業・フードバンク・子ども食堂・人材育成など)を行う。信州子ども食堂ネットワーク事務局としては「子ども食堂」運営団体を繋ぎ、情報発信や支援活動をする。

また福祉会は同ネットワークに今年1月、加盟したことをきっかけに多彩な活動実績や施設設備などの特色を生かし、ホットライン信州の東信拠点を発足した。なお両者は5月から連携し、相談事業も開始。1室を相談室とし、福祉実務経験者が相談にあたり、守秘義務遵守のもと関係機関と連携した支援を行うという。

いただいたカルピスは、昨今のコロナ禍で苦慮している子どもと家族のために、県内それぞれの信州子ども食堂ネットワークと「各地域子ども食堂」や必要としているご家庭に順次配らせていただいております。

お問い合わせは、NPOホットライン信州 ☎0120-914-994 まで。

2021年(令和3年)6月1日(火曜日) 信州民報

上田市
「ホットライン信州」の活動をサポート
ペットボトル約1500箱が運び込まれる

上田市長瀬の(福)まるこ福祉会(柳澤正敏理事長)は、「信州子ども食堂ネットワーク」事務局を担当する、NPO法人ホットライン信州(松本市)の活動をサポートするため、施設の一部を同法人の東信地域活動拠点として整備し、新たな連携事業をスタートする。

26日は、東信地域の「子ども食堂」などを運営する団体へ配分する目的で、清涼飲料(カルピスウォーター)430ml

ペットボトル)24本入り約1500箱が同福祉会へ運び込まれた。これはアサヒ飲料株が、子どもと家族の居場所運営支援のために寄付したものの、県の窓口でホットライン信州が受け取り、東信地域分1回目の搬入をした。朝9時前から10トントラック2台で運び、同福祉会職員が受け入れた。

一旦倉庫に保管して今後、東信地域の必要とする団体などへ配分するという。柳澤理事長によると「大



大量の支援物資(清涼飲料)を受け入れた、まるこ福祉会職員(写真中央は柳澤理事長)



10トントラック2台で、約1500箱の飲料が搬入された



学生に弁当配食 530食と食料支援

信州子ども食堂ネットワーク

5月29日(土)、信州子ども食堂&学生応援フードパントリーは、信州大学松本キャンパスと八十二銀行信州大学西門前でコロナ禍の環境で困っている学生に食料の配布などをNPOホットライン信州と県青少年サポーターら約50名が、企業から寄せられた480人分の米や飲み物、缶詰、レトルト食品、マスクなどを学生に配布しました😊。ご支援ご協力戴きました皆様ありがとうございました😭。早朝530食のお弁当を「ゆいま〜る子ども食堂」「寄り添い子ども食堂」「はらぺこあおむし食堂」の3食堂の皆さんが作ってくれました。学生からは「とても美味しい・・・」と大好評でした😊。



▲次々に訪れる学生たち、一時は行列もできました。



集まった食材など、約8千点の支援物資を配りました。

▼5月30日(日曜日) 市民タイムに掲載されました。



子供たちの食事支援 業約30社から寄せられに取り組みNPO法人 ホットライン信州は29日、松本市の信州大学のキャンパスと八十二銀行信州大学前支店で、弁当や食料の無料配布を行ったII写真。新型コロナウイルスの影響でアルバイトができないなど生活が苦しい大学生を支援しようと考えた。お米をもらったのでオムライスを作りたい」と笑顔を見せていた。

NPO・ホットライン信州

信大生に食料無料配布

信州が信州大学内で食材の無料配布をするのは初めてで、青木正照事務局長は「他の大学でも行えるように検討していきたい」と話していた。(小口浩二)



お弁当 530 食を作った、信州子ども食堂ネットワークの3食堂

5月29日(土)3会場の子ども食堂「沖縄料理ゆいまーる」では、スタッフ7名が朝7時からのお弁当作り…とても手際よく個々に分担出来とても素晴らしかった。店主の藤森さんが早朝仕込み作業して下さり数点のお総菜を作っておいたのでスムーズに作業が進み1時間半程で信大の学生用の鮭弁当150食と一般学生&スタッフ用60食は、ボリュームある信州サーモン弁当完成しとても団結力を感じました。



「寄り添い子ども食堂」では、お弁当は、焼き鮭、きんぴら、卵焼き、ウィンナー、キャベツの浅漬け、ミニトマトでみんなの力で170食仕上げました。



「はらぺこあおむし食堂」では、今回・・・お弁当屋さんになっちゃいましたねー。信州サーモン弁当が、皆さんの協力で美味しく出来上がりましたー！にんじんサラダも大豆とゴマで栄養もバッチリ爽やかなお弁当150食に大歓声でしたー。

県内外の多くの企業から信州子ども食堂 & 学生応援フードパントリーに食材など寄せられました。



玄向寺様からはドーナツと御煎餅400個の「おすそわけ」が提供。



感謝を添えて お弁当を提供

諏訪市 信州子ども食堂 with 温泉寺

諏訪市湯の脇の温泉寺で開く「信州子ども食堂 with 温泉寺」。第54回は5月9日(日)。子ども45名と大人53名の計98名の参加がありました。

母の日のプレゼントに感謝の思い

5月のさわやかな風の中、“母の日”のため、地元生花店からガーベラ、ミニバラなど計50鉢が用意されました。子どもたちに普段の感謝の気持ちを書いてもらい「おかあさん いつもありがとう」と花に添えて子どもから渡されました。日ごろ忙しくストレスも溜まりがちなお母さんも、突然のプレゼントにうれしさを隠せませんでした。「ここでお弁当を提供してもらるので、食事のことを考えずにゆっくりできる。今日は思わぬお花のプレゼントでうれしかった」との声。お父さんにももちろんお花をプレゼント、家に帰ってプレゼントすると言っていました。



子どもには地元駄菓子屋さんからお菓子のプレゼントがあり、テンハウさんからご提供いただいた餃子を渡しました。コロナで行事が少ない中で親子の心温まる風景が見られ、温泉寺境内のこいのぼりのように、早く自由に遊べる日がくればと感じました。

中学生の諏訪湖清掃でお弁当を提供

第55回は5月30日(日)6時から、諏訪市の湖畔公園モニュメント前で「信州子ども食堂 with 上諏訪中学校諏訪湖清掃」。上諏訪中学校が年3回行う諏訪湖清掃にお弁当を提供しました。参加者は、子ども120名と



大人17名の計137名。さすが伝統の諏訪湖清掃で120名もの生徒が自主的に集まることにまず脱帽の思いでした。皆さん手際よくゴミを手やトングで拾い、ビニール袋に入れていきました。

お弁当は「れすとらん割烹いずみ屋」さんからの135食で、朝早くからご準備いただきました。加えてホットライン信州からカルピスウォーターをご提供いただきました。これから部活の生徒もいて食事が助かり、親御さんからも「朝飯の心配をしなくて楽」と感謝の言葉をいただきました。

1971年から行っている伝統行事を、子ども食堂として応援する形となり、校長先生はじめ、先生より感謝の言葉をいただきました。



<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



諏訪ベースボールクラブにお弁当を提供

第56回は6月12日(土)、諏訪市クリーンレイク野球場で「信州子ども食堂 with 諏訪ベースボールクラブ」。普段から多くの子どもたちにお弁当を提供したい思いから、監督・コーチに掛け合い、お弁当の提供が実現しました。参加は、子ども32名と大人13名の計45名。試合の後に、監督・コーチ・選手・親御さんから「ありがとうございました〜」と元気なご挨拶をしていただきました。こちらもお弁当食べて、元気でがんばってね〜とお返しをしました。こうしたボランティアのつながりで、子ども食堂の活動が、どんどん広がっていきばいいと感じました。



選手・親御さんから「ありがとうございました〜」と元気なご挨拶をしていただきました。こちらもお弁当食べて、元気でがんばってね〜とお返しをしました。こうしたボランティアのつながりで、子ども食堂の活動が、どんどん広がっていきばいいと感じました。



第57回は「父の日」プレゼントと2ヶ月ぶりの屋台

6月13日(日)、子ども50名と大人68名の計118名の参加がありました。「父の日」のため、地元衣服店から「タオル地ハンカチ」とギフト店の「カフェオレ」を、地元生花店作製の「小袋」に入れて、子どもから「ちょっと照れくさいけど」とお父さんに渡されました。子どもたちにはお父さんへの感謝の気持ちを書いてもらいました。「おとうさん いつもありがとう」、「パパ だいすき」や、お母さんから「げんきではたらいてね」など、パパにとってはとってもうれしい言葉がプレゼントに添えられました。

令和3年6月17日(木) 長野日報



子ども食堂で父の日贈り物

温泉寺

諏訪市湯の脇の温泉寺で13日、第56回信州子ども食堂with温泉寺があった。コロナ禍の感染防止で事前予約のあった弁当105食を配布。父の日が近いので、食堂側でタオルなどの贈り物50セットも用意。子どもたちがその場でメッセージを書いて、父親らにプレゼントした。

岡谷、諏訪市内の飲食店4店から購入した弁当を大人500円、子ども無料で渡した。感染防止に気を配りつつクレイプや綿あめの屋台なども出し、笑顔で受け取る子どもの姿が見られた。贈り物は手作り巾着に包まれており、地元のお店などの協力を得て用意した。ボランティアの柳澤真由美さん「同市」は「季節の行事を大切にしたい。照れて喜ぶお父さんもいて良かった」と話した。子ども食堂は企業組合労協ながの南信事業

子ども食堂が用意した「父の日」のプレゼントを渡した(信州子ども食堂with温泉寺提供)



今回は2か月ぶりに屋台の復活で、ご近所の方のご協力で「わたあめ」と、大野夫妻による「クレープ」を作っていただきました。また、諏訪圏域子ども応援プラットフォームからの紹介で、オリックスハケ岳農園の水耕栽培の葉物野菜(ルッコラ、ほうれん草、春菊)をご提供いただき、利用者、ご近所の方にとっても喜ばれました。感謝いたします。



5月に母の日、今回父の日と、普段言えない感謝の言葉をプレゼントに添えて伝えたのは、本当に心温まる光景でした。子ども食堂に「おしゃれ」して来てくれる子もいて、行事や行く所が限られる中で、子ども食堂が地域の「拠り処」であり、「おでかけ処」であればいいと感じました。



全国食支援活動 協力会との連携

信州子ども食堂ネットワーク

6月3日（木）、県庁議会棟で「共食でつながるフェスタ」企画会議を開きました。参加は、全国食支援活動協力会と長野県・長野市の関係部局、信州子ども食堂ネットワーク関係者ら約30名でした。

この活動は、すべての人が食を通じて参加できる居場所づくりの推進が目的。活動団体・応援企業・地元自治体が実行委員会形式で運営し、異分野の多様な機関が力を合わせて、安定した活動が続けられる環境の構築を図ります。



フェスタは、10月1日（金）14時から長野市芸術館と翌2日（土）11時から長野市桜スクエアで開き、信州子ども食堂&フードパントリーと各子ども食堂の出店などを予定しています。

全国食支援協力会が信州子ども食堂ネットワーク各拠点を視察

全国食支援協力会が6月2日（水）、まるこ福祉会（東信拠点）とだがしやG（中野市拠点）を、3日に長野市内のにっこり広場、長野事務所、長野地域振興局など、信州子ども食堂ネットワークの各拠点を視察し、担当者と意見を交換しました。



まるこ福祉会では、10トン車×2台で受け入れたカルピスが、各地区へ配送された状況を視察しました。

にっこり広場の倉庫とホールを視察



長野地域振興局の倉庫を見学後、会議室で説明



だがしやGを視察（G-ご縁と元気）



<編集>信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています
 無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での開催報告や開催日程などをご覧ください



バルーンアート& フードパントリー

中野市 だがしやG



6月20日(日)、中野市の「だがしやG」で、わくわく・ドキドキのバルーンアート教室が開かれました。

自分で作るもよし、ベガス HIROSHI に作ってもらうのもよしでしたが、多くの子どもたちは「自分で作る」を選択！ベガス HIROSHI の説明に耳を傾け、わくわくの様子でした。



男子は剣を持つと、さっそくチャンバラごっこ！



バルーンアートにはじめてチャレンジする子どもは、不安な表情を浮かべていましたが、完成すると笑顔に変わりました。

コロナ禍の中で様々なイベントが中止となり、子どもたちの楽しみも奪われている中で楽しい時間を過ごすことができました。



ジャム・ナメタケ・佃煮・新品のタオルなどが並び「本当に助かります！」と喜びの声が続きました。

フードパントリーは大人気

子ども 58 名と大人 54 名の合計 112 名へ食材を提供しました。

アサヒグループフォールディングスさん寄贈のカルピスは、大人気でした！



カルピス大好き！ありがとう！アサヒさん



<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ [0120-914-994](http://hotline-shinshu.jimdo.com/) 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



待ち遠しい みんなの食卓



長野市上高田 ともと誰でも食堂

長野市上高田の宅老所おいでなしてで、毎月3回開く「ともと誰でも食堂」。コロナ禍でいっしょに食卓を囲むことができなくなってからは、持ち帰り弁当を提供しています。



再開が待ち遠しい大家族の食卓

以前は、誰もが気軽に立ち寄って、三世代がいっしょに食事をしながら楽しい時間を過ごしていました。

↓ 2019年3月の写真



地元の旬を味わってほしい

献立は、地元でとれる旬の食材を中心に、みんなでおいしくいただく昔ながらの「一般家庭の夕食」のイメージ。こどもに食べさせたい「郷土のもの」を考えています。

春は芽のもの、苦いもの。
夏はぶら下がるもの。
秋は実のもの。
冬は根のもの。

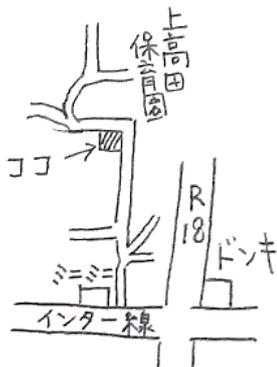
季節ごと、体に必要な栄養と機能を備えた旬の食材があります。人間の味覚は「つ」のつく歳までにできあがってしまします。九つ=9歳までに覚えた味覚が一生ものです。

核家族、共働き、孤食…いろいろな問題がある時代。たまには、みんなで食べる共食を。家事の手を休めて子どもとゆっくり過ごす時間になれば、うれしいと思いながら運営しています。

お早くお召し上がりを

お弁当には抗菌シートを入れています。お持ち帰り後はできるだけ早くお召し上がりください。

また、ご感想やご希望はいつでもお待ちしております。



<7月~8月の予定>

7月7日(水)、16日(金)、26日(月)
8月5日(木)、18日(水)、27日(金)

現在は17時頃までに予約の電話をお願いしています。予約がなくても出せるよう用意していますが、なくなってしまうと、ごめんなさい。次回は予約をお願いします。

ご予約は、090-5426-3764 高橋

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



お弁当と物資 配布に大忙し

長野市 信州子ども食堂



6月19日(土)、長野市の「信州子ども食堂」は、コロナ禍の影響で今回も室内での飲食禁止の中😊、子ども47名と学生98名を含む198名が参加し、お弁当と支援物資の配布で大忙しでした😊。



メニューは、おいしい信州サーモンの味噌チーズ焼きと塩焼き、オムレツ、マヨボール、トマト煮など。豊富な食材とボランティアさんの愛情がたっぷり詰まったお弁当に学生さんからは「とてもおいしかった」😊との声でした❤️



SDGs を伝える紙芝居を作成

子どもたちは、SDGsの学びをする中で、多くの子どもたちにも参加してもらうためにも、「SDGsとは何か・・・」をもっとわかりやすく理解するために紙芝居を作ることになりました。登場人物は、人気キャラクター😊を活用することにしました。「10月発表を目指す」を確認しました。・・・みなさん楽しみにしていま～す。😊



<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています
 無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください





テイクアウトと 宅配弁当で開催

長野市 信州子ども食堂古里カフェ

6月20(日)、長野市の「信州子ども食堂古里カフェ」は、子ども27人を含む60人が参加しました。今回もコロナ禍のため、宅配とテイクアウトでの開催になりました。



メニューは麻婆豆腐丼と二十日大根のマリネ・いちご柏餅・ごはんを冷まして、NPOホットライン信州提供の信州サーモン焼味噌味100gを乗せての提供でした。信州サーモン味噌味、塩味美味しいもちもちの柏餅といちごが最高！カルピスウォーターと一緒においしくいただきました。



前日は雨降りの中、柏の葉摘みからはじめて、柏餅150個をスタッフ7名で作りました。次回は久しぶりに事務所に集まっての再開予定です。なお、事務所に来られない人、妊婦さん、引きこもりの子供達、高齢者世帯には、引き続き宅配弁当で繋いでいきます。



<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています。無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州 ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください





常連を励みに 2ヶ月ぶり再開

中野市 なかの子ども食堂

6月26日(土)の「なかの子ども食堂」は、2ヶ月ぶりに時短・シンプルメニューで細々と開催しました。

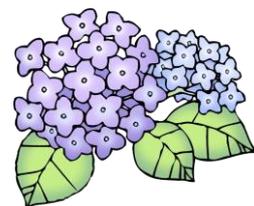
参加者は、大人17人(うちスタッフ9)と子ども6人の23人でした。いつものように、子どもたちが遊ぶ時間もほとんどなく、食事はだまって食べる味気ないものでした。子どもたちはしっかりだまり、もくもくと食べます。たまにしゃべるのは大人です。そんな子ども食堂であっても、開催を心待ちにしてやってくる常連の方を励みにしています。



今回も準備に関わるスタッフは少なく、綱渡り状態ではありましたが、このような危機は何回もありましたので大丈夫でした。

メニューは ケチャップライス+卵+レタス+ブロッコリー+ミニトマトのワンプレート、野菜たっぷりスープ、ペットボトルの麦茶、カルピス、リンゴタルトでした。

常連の中に裁縫が上手な方がいます。いただき物の布で作ったバッグや、エコバッグなどをたくさん持って来て参加者の方に提供しています。毎回楽しみです。作っている方も、皆さんに持って行ってもらうことがはりあいになっているように思います。



お届けするために分けた食材



エコバッグいただいているんですか

今回の食材提供は、えりんぎ・しめじ(JAなかの)、たまご(延徳の西山さん)、たまねぎとレタス(霜鳥さん)、カルピス(ホットライン信州)、リンゴタルト(中野市社協)でした。0円スーパーからのご縁、市の子育て課・子育て相談室からつなげていただいたご縁で、10軒ほどのお宅に食材などをお届けすることもできました。

<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



心温まる言葉を 幸せに弁当提供

松本市 信州子ども食堂 in まつもと学び塾



6月26日(土)、松本市の「信州子ども食堂 in まつもと学び塾」は、子ども26名含む62名が参加し、支援物資配布とお弁当をテイクアウト、公園で3密を取りながら開催しました。



公園で食べられた方からは、「サーモン美味しい」、「バランス良いお弁当ありがとう」、「なかなか食べられない物ばかりで嬉しい」、「こんな美味しいお弁当いただけで幸せ」など、とても心が温まるとお礼をいただきました。

メニューは、信州サーモンのお弁当。塩焼き&味噌焼きサーモンをご飯の上に豪華にのせました。付け合わせのおかずは、にら玉・ズッキーニとちくわのケチャップ炒め和え・野菜炒め、煮物。食材は、(株)マツワ食品のサーモン、ナガノトマトのケチャップ、JAグリーン長野とフレッシュフードシェアでいただいたたくさんのお野菜をふんだんに使って仕上げました。



うれしそうに食べてくださる姿に、幸せと頑張る力をいただきました。お持ち帰りの方からも「帰って直ぐにいただきます」「いつもお弁当ありがとう」、「1食とても助かります」と感謝されました。

今日は、お手伝いに来てくださった学生さんとボランティアさんとても助かりました。ありがとうございました。



キューピーさんからのカレーとマヨネーズ、ローソンさんから雨傘・カップ・バックなど多数のご寄贈をいただきました。



<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください



お腹を満たす うれしいお弁当

松本市 信州子ども食堂 in まつもと・どん八



7月1日(木)、松本市の「信州子ども食堂 in まつもと・どん八」は、今回も支援物資配布とお弁当をテイクアウト方式。子ども18名を含む53名が参加しました。

梅雨の最中、雨が降ったり止んだりでしたが、たくさんの方がお弁当を楽しみに来られました。



メニュー

ーは、どん八のいなり寿司と信州サーモンの塩・味噌焼き。副菜には、夏野菜の Pasta、ふき煮、鶏肉団子を作りました。

食材は、(株)マツワ食品の信州サーモン、

JA グリーン長野からのお野菜、イチジウからのパスタソース、いろんな企業さんからいただいた缶詰め(ツナ)を使わせていただきました。



お弁当を受け取った方々からは、「いなり寿司好きだから嬉しい」、「いつも助かります」、「子どもが喜ぶメニューありがとうございます」と感謝されました。

公園のベンチで食べられた方々からは、「こんな種類豊富なお弁当に感謝」、「ボリュームいっぱいでお腹が満たされました」、「愛情いっぱいのお弁当ありがとう」等とお言葉をいただきました。来てくださった皆さんに喜んでいただけて、感謝されスタッフ一同幸せになりました。

どん八さんからのお菓子と玄行寺さんからのドーナツとをたくさん選んで、喜び子どもたち



いっせいさんのレインボーわたがしを食べる子どもたち



鍼灸の癒しで自律神経を整えました



<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています
無料相談・問い合わせ  0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧くださいませ



高校生が手伝い サーモン弁当

松本市 寄り添い子ども食堂



6月28日(月)に開催した「寄り添い子ども食堂」には、こども41人を含む78人が参加しました。

初めて参加されたお年寄りや、久しぶりに来てくれた親子など大勢の方に参加していただきました。

準備の時から会場作りや荷物の運搬などを、高校生がお手伝いしてくれて助かりました！色々な世代の方に、子ども食堂を知って参加してもらえることは嬉しいことです。



メニューは信州サーモンののり弁当。ホットライン信州からいただいた信州サーモンの塩焼きと味噌焼きの2切れをのせた豪華なお弁当。ほかに、きんぴらごぼう、ちくわの磯辺揚げ、ウインナー、こんにゃくの煮物、たくあんをのせて、サラダと豚汁を付けました。それと、鶏レバーの甘辛煮も作りました。レバーは苦手という人もいましたが、「苦手だけど食べられた😊」「くせがなくて食べやすい」と言っていました。普段あまり口にしない食品も取り入れていければ良いと思います。



『信州サーモンってどんなお魚？』

ニジマスとブラウントラストという魚から生まれた長野県の独自ブランドであることや、魚の特徴などを説明しました。信州サーモンは食べやすく、脂ものっていて、皆さんからとても好評でした。



今回もたくさんの皆様の参加、ご協力ありがとうございました。



<編集> 信州子ども食堂ネットワーク事務局 本事業は休眠預金を活用した助成を受けて実施しています

無料相談・問い合わせ 0120-914-994 特定非営利活動法人NPOホットライン信州
ホームページ <http://hotline-shinshu.jimdo.com/> 各地での報告や開催日程などをご覧ください

